

質 問 順 位	4	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. 公共施設マネジメント計画について	1. 滝川市を取り巻く財政環境は大変厳しいものがあると考えます。今後の人口減少等による公共施設のあり方については、2014 年～2023 年の 10 年計画で公共施設の対応を唱えています。ここでの質問は、インフラ等に関してのものではなく公共施設に対する質問です。公共施設の利用・需要は変化していくと考えます。質的、量的な適正化と安全・安心の確保に努め持続可能な行政サービスの提供が求められますが、中・長期的な視点のもと更新、統廃合、長寿命化の分類を含め、ゆっくりとした計画の推進ではなく、早急な取り組みが求められると考えます。市長の見解を伺います。		
		2. 現状と課題等については、すでに整理・把握されていますが、将来的な展望を考慮し財源確保に向け、公共施設適正管理に係る地方債の対象となる施設等を優先した事業展開を図るべきと考えます。市長の見解を伺います。		
	2. 滝川市「生涯活躍のまち」基本計画について	1. 計画の背景としては、高齢者、障がい者など誰もが永く元気に暮らし、多様な交流や社会貢献など、生涯にわたり生きがいを持って暮らせる環境をつくり、都市部からの移住を図ることを狙いとしていとあります。高齢者・子育て等に対しては、具体的項目をもって基本計画に記述があります。しかし、障がい者に関しては、支援施設の記述しかありません。 社会政策部会におけるメンバーに、障がい者担当者が見当たらない現状です。計画の目的では健常者も高齢者も子育て世代も生きがいを大事にしていくものと思います。記述として弱者的な視点が欠落していると考えますが、市長の見解を伺います。		

質 問 順 位	4	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員		
件 名	項 目	要 旨		メ	モ
2. 保健福祉行政	1. 滝川市障がい者計画策定について	1. 計画策定における経緯について、 ① 庁舎内の連携は図られたか。 ② 計画策定においてアンケート調査、ヒアリング等関係機関との協議はなされたか。 ③ 現状把握における調査はどのように実施されたか。			
		2. 計画の位置づけについて、 ① 障害者基本法との整合性から滝川市総合計画、高齢者保健福祉計画、地域防災計画等との効率性を踏まえた中での位置づけはどのようなになっているのか。 ② 国や北海道との基本的な考えは一致しているのか。			
		3. 障がいには、身体・知的・精神があり、種別や程度も多様と考えます。これらのニーズへの、きめ細やかな対応として、どのような考えのもとに実施されていくのか。			
		4. 障がい者の雇用・就業支援として、 ① 就労継続支援事業所との連携と就業希望者のニーズの把握はなされているか。 ② 就業、職業的自立と雇用機会の拡大、また、障がい者雇用促進を進めているか。			

質 問 順 位	4	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
		5. 広報・啓発活動として、障害者週間（12月3日～12月9日）に対するイベント等の事業や小・中学校における交流教育や地域住民との福祉講座等の開催をしていく考えはないのか。		
		6. 策定した計画を定期的に調査、把握し、実施状況の点検は重要と考えるところです。 また、経済・社会の変動を踏まえ、計画の見直しも視野に入れておくべきとも考えます。この点についての考えを伺います。		
3. 市立病院	1. 市立病院経営計画の取り組みについて	1. 経営計画に沿って、職員一丸となり経営努力がなされていますが、以下4点について伺います。 ① 病院会計において、収益増に向けての取り組みで新しいアイデアはあるのか。 ② 病院会計において、経費の抑制・節約に対する取り組み状況は、どのように努められているのか。 ③ 経営計画に対する病院職員の意識醸成は、どのように図られているのか。 ④ 地域医療連携に対する具体的な取り組み状況は、どのようになっているのか。		

質問順位	4	質問者	渡邊龍之議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
4. 教育行政	1. 道徳教育について	1. 道徳教育に関しては、学校全体としての指導計画を立て、その目標と各学年との関連などを確認し、年間計画を作成し指導を行うようですが、実態は他の教科指導に追われ道徳教育の重要性が低いのではないかと思います。学力低下が叫ばれている現状では、週1時間の道徳時間を他の行事や教科の補習に使われているのではないかと。学校運営を含めた中での問題点としての意識はどのように考えているのか伺います。		
		2. 道徳教育については、子どもの生き方や、考え方など一人の人間としての行動を教えていくのではないかと思います。学校以外で家庭・地域社会で過ごす環境が及ぼす影響が大きいと解する。そこで学校・家庭・地域のあり方を含め道徳教育を育むため、どのような方策、取り組みが必要と考えるのか伺います。		
		3. 文部科学省は道徳の教科について、小学校では2018年、中学校では2019年に導入されます。文部科学省が示す道徳教育の一番の狙いは「人としてどうあるべきか。自分はどう生きていくべきか。」ということをも自分自身で考え、実際に行動していけるようにすることとあります。滝川市として道徳教育の指導は、どのように進めていくのか伺います。		